

講義名	社会経済分析/都市情報解析			授業形態	
担当教員	長谷川 哲郎	開講期・曜日・時限	後期 金曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	3年生

主題と概要

【主題】
まちづくりにかかる人口・経済指標等の統計データを用いた分析手法とその利活用
【概要】
「証拠(エビデンス・ベスト・ポリシー・メイキング、証拠に基づく政策立案)」という言葉に代表されるように、様々な意思決定をカンに頼るのではなく、合理的根拠(エビデンス)に基づくことが求められています。
この授業では、まちづくりに取り組むに際して地域の実態を明らかにするための人口や社会経済・都市活動や交通行動にかかる様々なデータについて深く理解し、利活用するための具体的手法を学びます。

到達目標

まちづくりをおこなう上での問題・課題の抽出とそれに対応するための方策を考えるための一連のプロセスを理解し、実践することができるようになる。
まちづくりに必要となる様々な統計データについて理解し、これを用いた集計や分析をおこなうことができるようになる。
様々な意思決定に必要な統計データを収集するため、アンケート調査の企画・データの収集と入力・分析するための業務を身につけることができるようになる。

提出課題

授業の進捗に応じて、レポート課題を求めることがあります。実施内容や方法については、個別に指示します。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

今回の授業の際に、必要時には全体的な講評や個別のコメントをおこない、積み上げ型の学修が出来るようにフィードバックします。

評価の基準

平常点(出席、レポート課題など)を30点、中間レポートを30点、期末レポートを40点として評価します。

履修にあたっての注意・助言他

積み上げ型の授業であり、かつ、授業時間中に演習問題を課すことがあるため、授業には必ず出席してください。
統計データの利活用方法やアンケート調査の実施方法を知ることが、現状把握や意思決定が求められる際など、社会人生活の様々な場面で求められることから、公務員(行政職)希望者を除くとして幅広い方に履修を推奨します。

教科書

.使用しません。

参考図書

.なし。

その他

授業はパワーポイントを用いて行いますが、プリント(パワーポイント資料、その他参考資料など)を配付します。

授業計画

- 第1回 イントロダクション
- 第2回 まちづくり計画の策定プロセス
- 第3回 様々な統計調査
- 第4回 国勢調査
- 第5回 統計調査を用いた分析事例
- 第6回 アンケート調査の企画と設計
- 第7回 調査データの入力・データチェック・集計
- 第8回 調査データの分析
- 第9回 前半のまとめ
- 第10回 REIS(地域経済分析システム)
- 第11回 GIS(Geographic Information System)
- 第12回 交通データ
- 第13回 ハーゾントリップ調査の概要
- 第14回 ハーゾントリップ調査を用いたデータ分析
- 第15回 将来人口推計(コーホート要因法)

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア:PBL(課題解決型学習)	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ:ディスカッション、ディベート	エ:グループワーク
オ:プレゼンテーション	カ:実習、フィールドワーク
キ:その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

授業終了後は、記憶が鮮明なうちに復習してください。併せて、参考図書や統計データにかかるIP等で学習することで、理解度をさらに高めてください。(約2.5時間/回)
日々の生活の中で様々な統計データを見た際に、本授業で学んだ知識と関連づけたり、その統計情報の詳細を調べること、社会・経済にかかる統計データについての理解を深めてください。(約1.5時間/回)

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本授業を通して、社会・経済にかかる様々な統計データに関する知識とその活用方法を理解し、合理的根拠のある意思決定が出来るようになることは、以下のディプロマ・ポリシーに関係します。
・「知識を知識に転換することができる。論理的思考力」(流通科学大学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力)
・「増進化する地域社会で生起する問題を読み解き、解決策を提案することができる」(経済学部 経済学科 地域まちづくりコースの学生が卒業時に身につけておくべき資質・能力)
・「情報処理に関する専門的知識を身に付け、経済にまつわる情報を分析し、活用することができる。」(経済学部 経済情報学科の学生が卒業時に身につけておくべき資質・能力)

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
地方自治体職員として都市交通計画や都市計画に取り組んできた実績を活かし、具体的な事例紹介や実務での知見を伝えることで、統計データの利活用にかかる理解の深化を図ります。

備考